

救急医療フォーラム

参加費無料

事前申し込み
不要

『地域で支え合う救急体制づくり～胆振東部地震からの教訓～』

小樽・後志は、海と山に囲まれた美しい自然と多彩な風景、そして歴史の面影をしのばせ、かつての栄華を今に伝え、多様な観光資源に恵まれた魅力ある地域です。近年は増加する外国人観光客の救急医療や日々地域住民の命を守ってゆく地域救急医療体制がどのようになっているのか、さらには災害発生時どのようにして地域の医療体制を確保し支えてゆくのかを、昨年秋の胆振東部地震を教訓として様々な観点から地域の皆様と一緒に考えてまいりたいと企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時

平成31年3月2日(土)

14時00分～16時00分

対象

地域住民および
医療関係者

会場

小樽市民ホール「マリンホール」

(小樽市色内2丁目13番5号 TEL 0134-25-9900)

主催 / 一般社団法人小樽市医師会、一般社団法人北海道医師会

共催 / 北海道、一般社団法人寿都医師会、一般社団法人羊蹄医師会、一般社団法人岩内古宇郡医師会、一般社団法人余市医師会

後援(予定) / 小樽市、北海道後志総合振興局、北海道倶知安保健所、北海道教育庁後志教育局、小樽市教育委員会、小樽市保健所、小樽市歯科医師会、小樽薬剤師会、北海道看護協会小樽支部、おたる地域包括ビジョン協議会、小樽市社会福祉協議会、小樽商工会議所、日本赤十字社小樽市地区、北海道新聞社小樽支社、株式会社エフエム小樽放送局、小樽ジャーナル

● 基調講演 「小樽市の災害救急－胆振東部地震2018.9.6」

小樽市医師会 理事/小樽市立病院 副院長 越前谷 勇人

● パネルディスカッション

テーマ:『地域で支え合う救急体制づくり～胆振東部地震からの教訓～』

〈コーディネーター〉 小樽市医師会 副会長 柿木 滋夫

北海道医師会 常任理事 目黒 順一

● パネリスト発言

①DMATの立場から 北海道災害医療コーディネーター 岸川 和弘

②行政の立場から 小樽市保健所 所長 貞本 晃一

③消防の立場から 小樽市消防本部 主幹(救急救命担当) 池亀 明

④住民の立場から 株式会社エフエム小樽放送局・総合プロデューサー 村岡 啓介

全体討論、フロアとの意見交換、質疑